

コロナ禍（新型コロナウイルス感染症）による米需要の減少と在庫増から生じる米価下落を防止するための意見書を別紙のとおり提出するものとする。

令和2年9月17日

提 出 者

郡山市議会環境経済常任委員会委員長 栗 原 晃

コロナ禍（新型コロナウイルス感染症）による米需要の減少と在庫増から生じる米価下落を防止するための意見書

コロナ禍（新型コロナウイルス感染症）の影響による外食・学校給食などの需要の減少により、主食用米の販売不振は深刻な影響を市場に及ぼし、需要実績は前年から22万トン減少している。全国における2020年6月末の民間在庫は、前年から12万トン増の201万トンとなり、安定供給に必要とされる180万トンを大きく上回っている。今後、コロナ禍の影響で失われた需要22万トンの対策を立てない限り、新米価格は下落に向かうと予測される。このため、コロナ禍における米対策として、市場から備蓄米への緊急買い入れや、在庫対策として保管経費の補助などの対応が早急に求められる。

新型コロナウイルス感染症の拡大という、今まで経験したことのない危機的事態の中で、農業者とその関係者の経営の安定と地域経済を守るために、従来の政策的枠組みにとられない対策が必要である。

よって、国においては、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響による米需要の減少により発生している2019年産米の過剰在庫を備蓄米として追加で買い入れ、米価下落を防止すること。
- 2 在庫対策として、保管経費等の補助を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年9月17日

郡山市議会